

日本育種学会 第113回講演会プログラム

2008年春季 明治大学

大会本部 (TEL : 080-6797-6185)

3月27日	午後	幹事会 14:00-18:00 (特殊プレゼンホール)					
		第1会場 A204教室	第2会場 A208教室	第3会場 A312教室	第4会場 A301教室	第5会場 A302教室	第6会場 特殊プレゼンホール
3月28日	午前	遺伝子・蛋白質 育種情報	抵抗性 品質成分	発育生理	遺伝資源 系統分化	変異解析	変異創成
		101-112	201-212	301-312	401-412	501-512	601-612
		9:00-12:00	9:00-12:00	9:00-12:00	9:00-12:00	9:00-12:00	9:00-12:00
	午後	ポスター (奇数番号) 12:45-13:45 (マルチメディアルーム)					
総会・受賞講演 14:00-17:30 (中央校舎6階メディアホール)							
懇親会 18:00-20:00 (食堂館スクエア21, 3階)							
3月29日	午前	遺伝子・蛋白質	抵抗性 品質成分	発育生理	ゲノム解析	変異解析	変異創成
		113-120	213-220	313-320	413-420	513-514	613-620
		9:00-11:00	9:00-11:00	9:00-11:00	9:00-11:00	9:00-9:30	9:00-11:00
	午後	ポスター (偶数番号) 11:00-12:00 (マルチメディアルーム)					
ランチョンセミナー「育種学会における男女総合共同参画をめざして vol.2」 -東京農工大学における女性研究者支援- 12:10-13:20 (特殊プレゼンホール)							
遺伝子・蛋白質		抵抗性 品質成分	発育生理	ゲノム解析	品種育成	変異創成	
		121-134	221-235	321-335	421-434	521-534	621-625
		13:30-17:00	13:30-17:15	13:30-17:15	13:30-17:00	13:30-17:00	13:30-14:45
							遺伝資源 系統分化 626-634 14:45-17:00
		グループ研究集会 17:30-19:30					

3月27日	幹事会 (特殊プレゼンホール: A館4F)
14:00	
↓	
18:00	

1日目(3月28日)午前			
3月28日	第1会場(A204教室)	第2会場(A208教室)	第3会場(A312教室)
9:00	<p>◆座長 山崎将紀 (神戸大)</p> <p>101 イネstay green突然変異体<i>nyc1</i>と<i>noi</i>の遺伝学的小および生化学的解析 佐藤豊1・森田竜平2・西村実2・草場信1(1. 東大農学生命科学2. 生物研放育場)</p>	<p>◆座長 藤井 潔 (愛知農総試)</p> <p>201 日本イネ・コアコレクションの登熟期の高温障害における品種変異 ○田畑美奈子1,2・奥野員敏2(1. 茨城県農業総合センター2. 筑波大学大学院生命環境科学)</p>	<p>◆座長 伊藤純一 (東大)</p> <p>301 <i>DROOPING LEAF (DL)</i> 遺伝子の中肋における発現に必須なイントロン内配列の解析 ○大森良弘・平野博之(東大. 院理)</p>
9:15	<p>102 イネ雑種弱勢原因遺伝子<i>Hmc1</i>の単離 ○沖山友哉1・金森裕之2・呉健忠3・松本隆3・一谷勝之4・黒田充宏1・渡部信義1・安西弘行5・久保山勉1(1. 茨大農2. STAFF研3. 生物研4. 鹿児島大農5. 茨大遺伝子)</p>	<p>202 北海道水稲品種系統の登熟気温による胚乳アミロース含有率変動性の差異 ○木下雅文・沼尾吉則・佐藤毅(道立上川農業試験場)</p>	<p>302 小穂器官数に異常があるイネの変異体の表現型の解析と遺伝子単離 ○河合新・吉田明希子・平野博之(東京大学大学院理学系研究科)</p>
9:30	<p>103 トマト果実におけるAGPase遺伝子群の発現解析 ○尹永根・小林芳江・大島泉・菅谷純子・西村繁夫・松倉千昭(筑波大生命環境科学研究科)</p>	<p>203 3種のイネ高アミロース変異体の特性解明と同座性検定 ○青木法明・梅本貴之・鈴木保宏(作物研究所)</p>	<p>303 イネLRR型レセプターカイネースの発現とその機能解析 ○大根田真子・寿崎拓哉・平野博之(東京大学大学院理学系研究科)</p>
9:45	<p>104 トマト液胞プロセシング酵素遺伝子ファミリーの花粉形成と果実発達への関与 ○佐野玄周・秋廣高志・江面浩(筑波大院生命環境)</p>	<p>204 イネ枝作り酵素に関する変異が胚乳澱粉の熱糊化特性に及ぼす影響 ○西愛子1・中村保典2・大坪研一3・佐藤光1(1. 九大院農2. 秋田県大生資3. 食総研)</p>	<p>304 イネ液性分裂組織形成に関わる<i>LAX2/LPM1</i> 遺伝子の解析 服部奨1・田淵宏明2・吉田均2・経塚淳子3・北野英己4・西村実5・佐藤豊1(1. 名大生命農学2. 中央農研3. 東大農学生命科学4. 名大生物機能開発利用研究センター5. 生物研)</p>
10:00	<p>◆座長 草場 信 (東大)</p> <p>105 アボミクス植物ギニアグラスの胚珠におけるEST解析 ○山田一秋山仁美1・秋山征夫1・菊池尚志2・高原学1・高溝正1・杉田真一1・中川仁2・蝦名真澄1(1. 草研2. 生物研)</p>	<p>◆座長 青木法明 (作物研)</p> <p>205 陸稲「戦捷」の食味に関する染色体領域とデンプン特性 ○城田雅毅1・福岡修一2・坂紀邦3(1. 愛知農総試2. 生物研3. 愛知農総試山間)</p>	<p>◆座長 宅見薫雄 (神戸大)</p> <p>305 イネのjuvenile phaseの長さを制御する<i>PPS</i>遺伝子の解析 ○田中伸裕・伊藤純一・長戸康郎(東京大学大学院農学生命科学研究科)</p>
10:15	<p>106 イネ卵細胞の遺伝子発現プロファイリング ○大西孝幸1・高梨秀樹1・茂木美来1・倉田のり2・藤田雅文2・岡本龍史3(1. 東大農学生命科学2. 国立遺伝学研究所3. 東京都立大理学)</p>	<p>206 水陸稲における団子硬度の品種間差 ○岡本和之・眞部徹・平山正賢・平澤秀雄(茨城県農業総合センター生物工学研究所)</p>	<p>306 イネの頂端分裂組織の維持および器官形成に関わる<i>WAF1</i>遺伝子の解析 ○阿部匡1・伊藤純一1・佐藤豊2・長戸康郎1(1. 東大農学生命科学2. 名大院・生命農学)</p>
10:30	<p>107 Affymetrixマイクロアレイプローブ再定義とイネ生殖過程の遺伝子発現解析 ○藤田雅文・望月孝子・堀内陽子・水多陽子・上田弥生・春島嘉章・倉田のり(情報・システム研究機構 国立遺伝学研究所 植物遺伝研究室)</p>	<p>207 イネ種子貯蔵タンパク質突然変異体<i>esp2</i>における米粉の製パン特性 川越靖1・高星千恵美1・恩田弥生1・熊丸敏博2・佐藤光2(1. 生物研2. 九州大院農)</p>	<p>307 イネ<i>HD-ZIP III</i> 遺伝子の機能解析 ○伊藤純一1・松原健一郎1・佐藤豊2・長戸康郎1(1. 東大農学生命科学2. 名大院・生命農学)</p>
10:45	<p>108 <i>OryzaExpress</i>: イネのゲノム・アノテーションとオミックス統合データベース ○矢野健太郎1・大木信彦2・望月孝子3・藤田雅文3・堀内陽子3・谷坂隆俊2・倉田のり3(1. 東大院農学生命科学2. 京大院・農・育種3. 国立遺伝研・植物遺伝)</p>	<p>208 生地物性を強める3種のグルテニン遺伝子を集積しためん用小麦系統「東海103号」の品質特性 ○藤井潔1・辻孝子1・吉田朋史1・池田達哉2(1. 愛知農総試2. 近中四農研)</p>	<p>308 イネの葉や胚の発生に関与する<i>adaxialized leaf2</i>変異体の解析 ○松原健一郎・長戸康郎(東大農学生命科学)</p>

1日目(3月28日)午前

第4会場 (A301教室)	第5会場 (A302教室)	第6会場 (特殊プレゼンホール)	3月28日
<p>◆座長 笹沼恒男 (横浜市立大木原生研)</p> <p>401 京都府在来のダイコン品種「佐波質」の起源 ○山岸博・山下陽子(京都産大工)</p> <p>402 アブラナ科植物における<i>orf138</i>遺伝子の系統学的解析 ○中川美緒1・服部玄2・奥西麗1・平田豊1(1. 農工大・院・国際2. 農工大・院・連大)</p> <p>403 <i>Brassica rapa</i>在来品種における自家不和合性対立遺伝子の頻度分布と優劣性の関係 ○宅野将平・及川恵里子・北柴大泰・西尾剛(東北大学大学院農学研究所)</p> <p>404 マイクロサテライトの変異に基づいたカブ(<i>Brassica rapa</i>)品種間の遺伝的類縁関係 ○高橋有・横井修司・高畑義人(岩手大農)</p>	<p>◆座長 藤野賢治 (ホクレン)</p> <p>501 SSRマーカーを用いたイネ極矮性の遺伝子マッピング 森川利信・阪本雅則・○築瀬雅則(大阪府大生命環境科学)</p> <p>502 イネ葉化類不稔(<i>lrs</i>)型に誘発された小穂がシュート状を示す突然変異体の遺伝解析 ○高牟禮逸朗・千葉あや乃・佐野芳雄(北大院農)</p> <p>503 イネの中心柱サイズ関連遺伝子座<i>Sta9</i>の連鎖解析 ○宇賀優作1・奥野員敏2・矢野昌裕1(1. 生物研2. 筑波大)</p> <p>504 イネの1次枝梗数制御に関するQTL解析 ○池田真由子1・宋献軍2・芦苺基行2・松岡信2・北野英己2(1. 名大院生命科学2. 名大生物機能開発利用研究センター)</p>	<p>◆座長 石川隆二 (弘前大)</p> <p>601 イネの<i>Dart</i>系トランスポソンのイネおよびシロイヌナズナへの形質転換と転移 ○島谷善平1・前川雅彦2・C. Eun3・高木恭子3・寺田理枝1,3・榎根一夫1,3・飯田滋1,3(1. 総研大・生命科学2. 岡山大・資生研3. 基生研)</p> <p>602 イネの<i>Dart</i>系DNAトランスポソンの転移活性の制御 ○C. Eun1・高木恭子1・島谷善平1,2・榎根一夫1・前川雅彦3・飯田滋1(1. 基生研2. 総研大・生命科学3. 岡大資生研)</p> <p>603 DNAトランスポソンの<i>Dart</i>のイネ遺伝子領域への高頻度な転移挿入 ○高木恭子1・前川雅彦2・榎根一夫1・飯田滋1(1. 基生研2. 岡山大学資生研)</p> <p>604 <i>O. longistaminata</i>由来交雑後代における<i>aDart</i>活性抑制因子の検証 ○西村秀希1・榎根一夫2・飯田滋2・前川雅彦1(1. 岡大資生研2. 基生研)</p>	<p>9:00</p> <p>9:15</p> <p>9:30</p> <p>9:45</p>
<p>◆座長 西岡美樹 (生物研)</p> <p>405 ダイコンにおける低温要求性開花制御遺伝子座のマッピング ○谷垣晴美1・勝川絹子1・久保中央1・塚崎光2・平井正志1(1. 京都府大農2. 野菜茶業研究所)</p> <p>406 アンデス原産のアカザ科穀類「キノア(<i>Chenopodium quinoa</i>)」におけるタンパク質含量の品種間差異 ○秋本正博1・金川悦子1・藤倉雄司1・A. Mujica2(1. 帯広畜産大学2. アルチプラノ大学)</p> <p>407 朝鮮半島南部の島々で収集したツルマメ [<i>Glycine soja</i> (Sieb. & Zucc.)]の種子サポニン組成多型性 ○塚本知玄1・本多のぞみ1・喜多村啓介2・原田久也3・島本義也4・J. Lee5・G. Chung5(1. 岩手大農学応用生物科学2. 北大院農学3. 農業生物資源研4. 東京農大生物産業学5. 韓国全南大生物工学)</p> <p>408 ミヤコグサ野生系統におけるSSR解析と遺伝的多様性 井上公一1・○権藤崇裕1・橋口正嗣1・霍田真一2・明石良1(1. 宮崎大フロンティア科学2. 宮崎大農)</p>	<p>◆座長 宇賀優作 (生物研)</p> <p>505 ダイズの閉花受粉性 ○N. Khan1・S. Mwangi2・E. Benitez3・松村尚和1・江口真樹1・阿部純4・川崎信二5・林武司5・高橋良二3(1. 筑波大生命環境科学2. ナイロビ大学3. 作物研4. 北大農学研究院5. 生物研)</p> <p>506 ダイズの難裂皮性のQTL解析 ○M. Oyoo1・E. Benitez2・高橋良二2(1. 筑波大生命環境科学2. 作物研)</p> <p>507 野生大豆 (<i>Glycine soja</i>) 耐塩性のQTL解析 ○A. Hamwieh・許東河(国際農研)</p> <p>508 トウガラシ果実色選抜マーカー作製のための変異解析 ○市川竜太郎・坂智広・笹沼恒男(横浜市立大学 木原生物学研究所)</p>	<p>◆座長 寺地 徹 (京産大)</p> <p>605 キク突然変異系統におけるRAPD分析による多型の頻度と生育 ○山田栄成・岩崎勇次郎(静岡県農林技術研究所)</p> <p>606 X線照射によるポットマムの生育および開花特性に及ぼす影響 ○岩崎勇次郎・山田栄成(静岡県農林技術研究所)</p> <p>607 赤毛自殖後代から生じる矮性変異体(d1-like.das)の形質解析 ○石川隆二1・今井克則2・竹谷敦子1・田村優佳1(1. 弘前大学農学生命科学部2. 岩手大学大学院連合農学研究所)</p> <p>608 イオン強度の違いによる簡易分画を用いたイネ胚乳の新奇テンブシ生合成関連変異体の探索 ○田崎三香子・石丸智・佐藤光(九大院農)</p>	<p>10:00</p> <p>10:15</p> <p>10:30</p> <p>10:45</p>

1日目 (3月28日) 午前			
3月28日	第1会場 (A204教室)	第2会場 (A208教室)	第3会場 (A312教室)
	◆座長 貴島祐治 (北大)	◆座長 熊丸敏博 (九大)	◆座長 佐藤 豊 (名大)
11:00	109 BACクローンのショットガン解析における大量処理型 BioMEMS DNAシーケンサ DeNOVA-5000HT の評価 ○金森裕之1・栗田加奈子1・菊田有里1・藤塚菜穂子1・神谷梢1・中村伸2・熊谷英郷2・松本隆1(1. STAFF研/生物研2. 島津製作所)	209 SDS-PAGEによるバンコムギ種子貯蔵タンパク質グリアジンの識別とRNAi形質転換体の作出 ○齋藤美沙・一色正之・川浦香奈子・萩原保成(横浜市大木原生研)	309 ペチュニアおよび葉緑体形質転換タバコのプロトプラスト培養による植物体再分化 ○重野麻子・森田智菜美・林清音・山岸博(京都産大工)
11:15	110 オオムギ染色体導入コムギ遺伝子発現パターンの網羅的解析 ○唐建偉1・川浦香奈子1・村中俊哉1・一色正之1・池田達哉2・Rahman Shaikh M. 2・萩原保成1(1. 横浜市大木原生研2. 近中四農研)	210 米ぬかに含まれるビタミンEの品種間差異 ○村田和優1・Sookwong Phumon2・木村俊之3・小島洋一朗4・仲川清隆2・宮澤陽夫2(1. 富山農技セ2. 東北大院農3. 東北農研4. 高岡農普指セ)	310 メロンにおける性表現のエチレン反応性を利用した性表現の可逆的変更 ○高橋悠樹1・仲島奈々実1・明石由香利1・松浦誠司2・アルキンヤシェン1・西田英隆1・加藤鎌司1(1. 岡山大学農学部2. (株) トーホク)
11:30	111 拡張したDNA塩基配列解析によるトウモロコシの選抜遺伝子スクリーニング法の検証 ○山崎将紀1, 2, 3・S. Schroeder2・Sanchez-Villeda Hector2・B. Gaut4・M. McMullen2, 5(1. 神戸大院農附属食資源教育研究センター2. ミズーリ大学コロンビア校3. 日本学術振興会4. カリフォルニア大学アーバイン校5. アメリカ農務省)	211 ダダチャマメ系統の品種における糖・組成含量の品種間差異および年時間変動 小田信博・○阿部利徳(山形大農)	311 イネ脱粒性遺伝子間の相互作用の解析 ○小西左江子1・伊藤友子2・呉健忠1・松本隆1・井澤毅1(1. 生物研2. 農林水産先端研)
11:45	112 ブナのゲノムにおける2種類のrDNA-IGS領域の存在とそれによるrDNAユニットの選択的発現調節 ○赤田辰治1・佐藤美奈子2(1. 弘前大学遺伝子実験施設2. 弘前大学大学院農学生命科学研究科)	212 ダイズにおける貯蔵蛋白質サブユニット変異の探索とメカニズムの解析 ○小林康真・于蕾・K. Win・B. Jollibekov・平田豊(農工大学・院・国際)	312 イネの湛水条件下における養水分吸収機構の動態 ○高橋宏和1・塩野克宏1・長村吉晃2・堤伸浩1・中国幹生1(1. 東大農学生命科学2. 生物研)

1日目 (3月28日) 午後	
12:45	ポスター (奇数番号) 12:45-13:45 (マルチメディアルーム)
14:00	<p style="text-align: center;">総会・受賞講演 (中央校舎6階メディアホール)</p> <p>学会賞 ★ダイズにおけるゲノム解析基盤の構築とその育種的利用。 原田 久也 (農業生物資源研究所ダイズゲノム研究チーム)</p> <p>★イネ縞葉枯病・穂いもち抵抗性に関するDNAマーカー選抜育種の体系化。 愛知県農業総合試験場・北海道農業研究センターイネ病害抵抗性育種グループ (代表者 藤井 潔)</p> <p>奨励賞 ★プログラム細胞死による雑種致死と花卉老化の誘導機構に関する生理遺伝学的ならびに細胞生物学的研究。 山田 哲也 (東京農工大学大学院農学府)</p> <p>★分子遺伝学的手法を用いたハイブリッドイネ実用化に関する研究。 小森 俊之 (日本たばこ産業株式会社 植物イノベーションセンター)</p>
18:00	懇親会 18:00-20:00 (食堂館スクエア21, 3階)

1日目 (3月28日) 午前			
第4会場 (A301教室)	第5会場 (A302教室)	第6会場 (特殊プレゼンホール)	3月28日
<p>◆座長 秋本正博 (帯広畜大)</p> <p>409 ミャンマー由来の <i>Musa</i> 属遺伝資源の遺伝的多様性とゲノム構成の評価 ○大久保実香¹・平野僚子²・P. Khaing²・三村真紀子³・菊池彰³・渡邊和男³(1. 筑波大学第二学群生物学類2. 筑波大学生命環境科学研究科3. 筑波大学遺伝子実験センター)</p> <p>410 多摩丘陵の雑木林に自生しているシュンランの花の変異性について ○関口文彦(日本女子大学理学部)</p> <p>411 野生二倍性コムギにおいて異なる小花に着いた穎果の間に見られた形態と休眠性の顕著な相違 ○大田正次・岸本あゆみ(福井県大生物資源)</p> <p>412 Uゲノム特異的PCR増幅断片U31の塩基多型に基づく四倍性エギロブスにおけるUゲノムの多起源性 ○笹沼恒男¹・廉隅紗代¹・山際宏昭¹・河原太八²(1. 横浜市大木原生研2. 京大院農学)</p>	<p>◆座長 清水顕史 (滋賀県大)</p> <p>509 トウガラシにおける種間接木変異後代の成熟果皮色変異とカロチノイド生成遺伝子の解析 ○石森元幸¹・宮沢裕章²・鈴木克彰³・榎谷奏二³・平田豊³(1. 農工大農学部2. カネコ種苗(株) 3. 農工大・院・国際)</p> <p>510 イネ低温発芽性遺伝子 <i>qLTG-3-1</i> 近傍域の連鎖形質 ○藤野賢治・関口博史(ホクレン)</p> <p>511 日本型イネ品種「日本晴」と「コシヒカリ」の戻し交雑後代集団における穂発芽耐性QTLの検出 ○堀清純¹・杉本和彦¹・野々上慈徳²・小野望²・矢野昌裕¹(1. 生物研2. 農林水産先端研)</p> <p>512 イネ種子胚乳形成におけるシャペロン遺伝子の解析 ○若佐雄也¹・保田浩²・高岩文雄¹(1. 生物研2. 北農研)</p>	<p>◆座長 村井耕二 (福井県大)</p> <p>609 植物染色体の消失方法について ○南藤和也¹・國府方吾郎²・丸橋亘³・海老沼宏安¹・島田照久¹(1. 日本製紙(株) 森林科学研究所2. 国立科学博物館 植物研究部3. 明治大学農学部)</p> <p>610 コムギに添加された準相同異種染色体対の減数分裂での相互作用 森玉陽介¹・岸井正浩²・田中裕之¹・○辻本壽¹(1. 鳥取大学農学部2. CIMMYT)</p> <p>611 <i>Brassica juncea</i> × <i>B. napus</i> のF2植物における形態的特性およびRAPDによる解析 ○津田麻衣¹・赤羽美智子²・金子幸雄²・蒲池伸一郎¹・小長谷賢一¹・田部井豊¹(1. 農業生物資源研究所2. 宇都宮大学農学部)</p> <p>612 デヒドロアスコルビン酸還元酵素 (DHAR) 遺伝子を葉緑体ゲノムに持つ遺伝子組換えタバコの作出 ○寺地徹・林清音(京産大工)</p>	<p>11:00</p> <p>11:15</p> <p>11:30</p> <p>11:45</p>

1日目 (3月28日) 午後		
ポスター (奇数番号)	12:45-13:45 (マルチメディアルーム)	12:45
<p>総会・受賞講演 (中央校舎6階メディアホール)</p> <p>学会賞 ★ダイズにおけるゲノム解析基盤の構築とその育種的利用. 原田 久也 (農業生物資源研究所ダイズゲノム研究チーム)</p> <p>★イネ縞葉枯病・穂いもち抵抗性に関するDNAマーカー選抜育種の体系化. 愛知県農業総合試験場・北海道農業研究センターイネ病害抵抗性育種グループ (代表者 藤井 潔)</p> <p>奨励賞 ★プログラム細胞死による雑種致死と花卉老化の誘導機構に関する生理遺伝学的ならびに細胞生物学的研究. 山田 哲也 (東京農工大学大学院農学府)</p> <p>★分子遺伝学的手法を用いたハイブリッドイネ実用化に関する研究. 小森 俊之 (日本たばこ産業株式会社 植物イノベーションセンター)</p>		14:00
懇親会 18:00-20:00 (食堂館スクエア21, 3階)		18:00

2日目(3月29日)午前

3月29日	第1会場 (A204教室)	第2会場 (A208教室)	第3会場 (A312教室)
9:00	◆座長 坪倉康隆 (生物研) 113 miR172の篩管長距離輸送について ○葛西厚史・兼平杏美・大関さおり・原田竹雄 (弘前大農学生命)	◆座長 中園幹生 (東大) 213 <i>Agrobacterium</i> を用いた機能スクリーニングによる オルギの耐塩性遺伝子の同定 ○多田雄一・江澤祥太2・山中拓哉3,4・深山真 史1,5(1. 東京工科大バイオニクス2. 東京工科大 大院バイオ3. 東京工科大片柳研4. 現・東京理科 大理工5. 現・産総研バイオニクス)	◆座長 横井修司 (岩手大) 313 シロイヌナズナ本葉における葉緑体シグナル伝 達経路の解析 ○柿崎智博1・松村英生2・中山克大3・寺内良平 2・稲葉丈人3(1. 岩手大学農学部附属寒冷バイ オシステム研究センター2. (財)岩手生物工学研 究センター3. 岩手大学21世紀COEプログラム)
9:15	114 Virus-induced gene silencingを利用したダイズ 種子におけるフラボノイド成分の量的改変 永松敦1・増田税1・千田峰生2・松浦英幸1・葛西 厚史2・洪鎮成1・喜多村啓介1・阿部純1・○金澤 章1(1. 北大院農2. 弘大農学生命)	214 <i>Agrobacterium</i> を宿主としたFOX Huntingによる オルギの耐塩性遺伝子の同定 ○江澤祥太・多田雄一(東京工科大院・バイオ情 報メディア)	314 イネ葉の枯れ上がりにおける葉緑素含量の減 少とプロテアーゼとヌクレアーゼの活性変化の 関連性 ○岡本美貴・司馬肇・穴戸理恵子・細野邦昭・野 村和成(日本大生物資源)
9:30	115 ダイズ種皮着色抑制遺伝子における二本鎖 RNA形成領域の特定 ○倉内佑・葛西厚史・千田峰生(弘大農学生命 科学)	215 簡易検定法によるコムギ遺伝資源の節間伸長 期耐湿性の評価 ○吉田朋史・辻孝子・藤井深(愛知県農業総合 試験場)	315 コムギ超極早生系統における花成関連遺伝子 の発現解析 水上満衣子1・北川哲1・鈴木隆之1・嶋田早苗1・ 塔野岡卓司2・半田裕一3・○村井耕二1(1. 福井 県大生物資源2. 作物研3. 生物研)
9:45	116 Analysis of genes involved in RNA silencing using Tos17 insertion mutant lines: OsRDR1 陳輝1・P. Samadder2・田中良和2・草場信3・西 村実2・宮尾安芸雄2・広近洋彦2・山岡直人1・○ 西口正通1(1. 愛媛大連合農学2. 生物研3. 東大 農学生命科学)	216 オーチャードグラスにおける幼苗を用いた耐旱 性の評価と選抜効果 ○内山和宏・荒川明・水野和彦(畜草研)	316 イネの生育相転換期における開花誘導遺伝子 の発現解析 濱田晋介・○齊藤大樹・奥本裕・袁清波・浅見武 人・谷坂隆俊(京大農)
10:00	◆座長 千田峰生 (弘前大) 117 イネ転移性因子の近傍領域とメチル化状態の関 連性 ○高須温子1・大坪久子2・佐野芳雄1・貴島祐治 1(1. 北大院農2. 東大分生研)	◆座長 吉田 薫 (東大) 217 イネの耐湿性に重要な根端への酸素運搬の効 率化に関わる遺伝子の探索 ○塩野克宏1・マリクイムラン1・小川諭志2・コ ルマーティム3・藤村達人2・太田賢2・磯田博子 4・安部征雄4・堤伸浩1・中園幹生1(1. 東大農学 生命科学研究科2. 筑波大生命環境科学研究科 3. 西オーストラリア大自然農業科学部4. 筑波大 北アフリカ研究センター)	◆座長 穴戸理恵子 (日大) 317 女性遺伝DNAマーカーを利用したメロンF1種子 のバルク純度検定法の開発 明石由香利1・吹野伸子2・浦木さよ子1・田中克 典3・アルキンヤシエン1・西田英隆1・松本哲2・ 大澤良4・○加藤録司1,4(1. 岡大農2. 野茶研3. 地球研4. 筑波大生命環境)
10:15	118 イネのDNA低メチル化変異体の解析 程朝陽2・○深井英吾1・井澤毅1・宮尾安藝雄1・ 廣近洋彦1(1. 農業生物資源研究所2. 基礎生物 学研究所)	218 水耕栽培でのイネのカドミウム蓄積能の解析 ○北川悦子1・Y. Shohab2・猪谷富雄3・草野友 延4(1. 秋田県農林水産技セ・農試2. 秋田県立 大3. 広島県立大4. 東北大)	318 イネse-pat複合遺伝子座の遺伝的分割によ る日長応答の変化 ○上床修弘・池田祐士・佐野芳雄(北大院 農)
10:30	119 <i>Brassica rapa</i> における <i>BrDDM1</i> によるDNAメチ ル化制御の解析 ○佐々木卓1,2・藤本龍2・岸谷幸枝1・西尾剛 1(1. 東北大院農2. 遺伝研)	219 イネの根系発達能の評価とこのQTLの同定 ○小原実広1・田村亘2・小野久智2・蛸谷武志3・ 矢野昌裕4・佐藤雅志5・山谷知行2(1. 岩手生工 研2. 東北大農学研究科3. 富山農技センター4. 生物研5. 東北大生命科学)	319 キンギョソウTam3に対する2つの非エピジェネ ティックな転移抑制因子 ○内山貴子1・藤野介延2・佐野芳雄1・貴島祐治 1(1. 北大院農植物育種2. 北大院農作物生理)
10:45	120 サツマイモ活動型レトロトランスポソンの異種植 物への導入と発現解析 ○山下裕樹1・山崎浩二2・豊田和弘1・田原誠1・ 松嶋兼弘3(1. 岡大自然科学2. 岡大農学3. 株式 会社ロッテ)	220 イネのツマグロヨコバイ抵抗性遺伝子 <i>Grh2</i> , <i>Grh4</i> , <i>Grh6</i> に関する遺伝子集積系統の育成 ○安井 秀・藤田大輔・吉村淳(九州大学大学院 農学研究院)	320 キンギョソウTam3の低温依存的な転移にかかわ るトランスポゼーゼの細胞内局在機構 ○藤野介延1・橋田慎之介2・貴島祐治3(1. 北大 農作物生理2. 東大分生研3. 北大農植物育種)
11:00	ポスター (偶数番号) 11:00-12:00 (マルチメディアルーム)		
12:10	ランチョンセミナー 「育種学会における男女総合共同参画をめざして vol.2 東京農工大学における女性研究者支援」 講師: 秋田カオリ(東京農工大・女性キャリア支援・開発センター) 12:10-13:20 (特殊プレゼンホール)		

2日目(3月29日)午前

第4会場 (A301教室)	第5会場 (A302教室)	第6会場 (特殊プレゼンホール)	3月29日
<p>◆座長 久保中央 (京都府大)</p> <p>413 トマトEST由来SSRマーカーの大量開発と種間F2集団を用いた基準連鎖地図へのマッピング 浅水恵理香1・大山暁男2・和田津由子1・笹本茂美1・宮武宏治2・根来里美2・山口博隆2・田畑哲之1・福岡浩之2(1. かずさDNA研究所2. 野菜茶研)</p> <p>414 並列ゲノムシーケンサーによるオオムギ3H染色体上のBAC配列解析 ○佐藤和広・元井由加・南角奈美・武田和義(岡大資生研)</p> <p>415 アカクローバの統合連鎖地図の作成とLDの推定 ○磯部祥子1・R. Kolliker2・I. Klimenko3・田畑哲之1(1. かずさDNA研究所2. スイス農業連邦試験場3. 全ロシアウイリアムス飼料作研究所)</p> <p>416 高温登熟条件下での背白米発生率を制御するQTLに関する準同質遺伝子系統群の育成と評価 ○白澤健太1,3・山田哲平1・永野邦明2・岸谷幸枝1・西尾剛1(1. 東北大院農2. 宮城古川農試3. 現:作物研)</p>	<p>◆座長 大澤 良 (筑波大)</p> <p>513 イネいもち病抵抗性劣性突然変異体の効率的選抜のためのスクリーニングシステムの開発とその応用 ○川崎信二1・粟戸裕美1・高橋章1・徐金1・宮尾安藝雄2・加藤浩1・廣近洋彦1(1. (独)農業生物資源研究所2. 作物研究所)</p> <p>514 <i>Oryza officinalis</i> 由来の早朝開花性系統の選抜とQTL解析 ○平林秀介1・竹本陽子1・石丸努1・竹内 善信1・梶亮太2・近藤始彦1・加藤浩1・井辺時雄3・小川紹文4・安東都夫1(1. 作物研究所2. 九州農研3. 国際農研4. 宮崎大)</p> <p>515 派生形質のQTLの解釈について ○石井卓朗1・米澤勝衛2(1. 作物研2. 京都産大工)</p> <p>516 テンサイの組換え自殖系統群を用いた褐斑病抵抗性ならびに根腐病抵抗性のQTL解析 ○田口和憲・岡崎和之・高橋宙之(北海道農業研究センター)</p>	<p>◆座長 雑賀啓明 (生物研)</p> <p>613 相同組換えによる2つのイネMET1遺伝子のノックイン改変体の作出 ○山内卓樹1,2・定塚(久富)恵世1・寺田理枝1・中村郁郎3・飯田滋1(1. 基生研2. 千葉大院自然科学3. 千葉大院園芸学)</p> <p>614 相同組換えを用いた遺伝子ターゲティング法によるイネDNAメチル化酵素遺伝子<i>OsDRMT1a</i>改変体の作出と表現型の解析 ○森藤暁・寺田理枝・定塚(久富)恵世・C. Eun・飯田滋(基生研)</p> <p>615 相同組換えを介したベクターからイネゲノムへの点変異の効率的導入 ○定塚(久富)恵世・飯田滋(基生研)</p> <p>616 ウイルス遺伝子を標的としたRNAiコンストラクトによるTYLCSV抵抗性付与 ○山口博隆・齋藤新・大山暁男・宮武宏治・布目司・根来里美・福岡浩之(野菜茶業研究所)</p>	9:00
<p>◆座長 佐藤和広 (岡山大)</p> <p>417 <i>Brassica rapa</i> におけるアントシアニン着色遺伝子座のマッピング ○林健1・松元哲2・近藤友宏3・久保中央1,4・平井正志1,4(1. 京都府農業資源研究センター2. 野菜茶業研究所3. 日本農林社4. 京都府大院農)</p> <p>418 ブーツン品種Kuchum由来のイネ穂ばらみ期耐冷性に関するQTLのマッピング ○千葉文弥1・我妻謙介1・佐々木都彦1・永野邦明1・清水武彦2・矢野昌裕3(1. 宮城県古川農試2. 農林水産先端研3. 生物研)</p> <p>419 高システインイネプロラミンの生合成・集積に関わる遺伝子座のマッピング ○松坂弘明・牛島智一・熊丸敏博・佐藤光(九大院農)</p> <p>420 ダイズ窒素代謝関連遺伝子座のマッピング ○西岡美樹1・林正紀1・泉輝昭2・原田久也1(1. 生物研2. 千葉大院園芸)</p>	<p>◆座長 石井卓朗 (作物研)</p> <p>517 第6染色体に座上する「Kasalath」由来いもち病抵抗性遺伝子を有する新品種「コシヒカリ富山BL7号」の育成 ○表野元保1・姥谷武志1・宝田研2・小島洋一朗3・向野尚幸2・山口琢也1・福田真紀子1・木谷吉則1・矢野昌裕4(1. 富山県農業技術センター2. 富山県庁3. 高岡農業普及指導センター4. 農業生物資源研究所)</p> <p>518 F₃系統を用いたコムギのふ色遺伝子<i>Rgl</i>座とLMW-GS <i>Glu-B3</i>遺伝子座との連鎖の後代検定 ○辻孝子1・藤井潔1・吉田朋史1・船附稚子2・池田達哉3(1. 愛知農総試2. 農研機構北農研3. 農研機構近中四農研)</p> <p>519 穂発芽耐性に優れたデオキシニバレノール蓄積が少ない春まき小麦新品種「はるきらり」の育成 ○中道浩司1・佐藤導謙2・吉村康宏1・小林聡1・西村努1・池永充伸1・佐藤奈奈1(1. 北見農試2. 北海道上川郡下川町在住)</p> <p>520 「きたほなみ」の収量形質からみた秋まき小麦の多収性育種について ○柳沢朗1・吉村康弘2・小林聡2・西村努2・前野真司1・渡辺祐志1・小野寺政行1・須田達也1(1. 道立中央農試2. 道立北見農試)</p>	<p>◆座長 福岡浩之 (野菜試)</p> <p>617 キクにおける植物由来の翻訳エンハンサーとターミネーターを利用した外来遺伝子発現効率の向上 ○間竜太郎1・鳴海貴子1・大坪憲弘1・山口博康1・長屋進吾2・加藤晃2・新名淳彦2・柴田道夫1(1. 花き研2. 奈良先端大バイオ)</p> <p>618 ミラフィオリレタスウイルスの外被タンパク質遺伝子を導入したビッグベイン病抵抗性レタス ○川頭洋一・野口裕司(野菜茶研)</p> <p>619 環境ストレス応答性<i>RSOsPR10</i>遺伝子を導入した形質転換ベントグラスの作出および評価 ○大田幸士1・長谷川久和1・寺川輝彦1・小松節子2・小柴共一3(1. 北農化学開発研2. 作物研3. 首都大生命科学)</p> <p>620 インディカ型イネ品種カサラスにおける高効率形質転換手法の開発 ○雑賀啓明・土岐精一(生物研)</p>	10:00
<p>ポスター (偶数番号) 11:00-12:00 (マルチメディアルーム)</p>			11:00
<p>ランチョンセミナー 「育種学会における男女総合共同参画をめざして vol.2 東京農工大学における女性研究者支援」 講師: 秋田カオリ(東京農工大・女性キャリア支援・開発センター) 12:10-13:20 (特殊プレゼンホール)</p>			12:10

2日目(3月29日)午後

3月29日	第1会場 (A204教室)	第2会場 (A208教室)	第3会場 (A312教室)
	◆座長 田口文緒 (生物研)	◆座長 持田恵一 (理研)	◆座長 久保友彦 (北大)
13:30	121 プロモーター解析によるイネの相同組換え開始酵素 <i>SP011</i> 遺伝子の発現特性 ○岡田英孝・豊田健太郎・菅野泰子・A. Selina・若狭暁(東京農大農学)	221 オオムギ雲形病菌におけるレースの変遷とその同定に関する一考察 ○竹内一成・福山利範(新潟大農学部)	321 テンサイ一代雑種の採種栽培において隔離距離が交雑率に及ぼす影響 ○高橋宙之1・島本義也2・岡崎和之1・田口和憲1・阿部英幸1(1. 北海道農業研究センター2. 東京農業大学)
13:45	122 ミトコンドリアと葉緑体へのDual targetingシグナル獲得による葉緑体RPS16の置換 ○上田実1,2・西川智太郎1・藤本優2・高梨秀樹2・有村慎一2・堤伸浩2・門脇光一1(1. 農業生物資源研究所2. 東大農学生命科学)	222 陸稲品種「嘉平」のいもち病圃場抵抗性遺伝子 <i>Pikahei-1</i> (t) の物理地図上へのマッピング ○徐金1,2・山根弘子3・呉健忠3・松本隆1,3・藤村 達人2・川崎信二1(1. 生物研2. 筑波大植物遺伝子工学3. STAFF研)	322 普通バレイシヨに対する6倍性野生バレイシヨ <i>Solanum demissum</i> の一側性交雑親和性の再検討 ○買友玲奈・小野聖二郎・保坂和良(神戸大食資源センター)
14:00	123 核ゲノムにコードされるテンサイミトコンドリア <i>rps19</i> 翻訳産物の細胞内局在 ○松永宗幸・高橋愛也・久保友彦・三上哲夫(北大院・農)	223 Identification of a candidate gene causing the lesion mimic mutation <i>sp16</i> increasing resistance against rice blast, revealing effectiveness of HEGS-SSCP ○B. Raman1,2・川崎信二1(1. (独) 農業生物資源研究所2. (独) 日本学術振興会)	323 イネの胚乳にみられる生殖隔離機構とゲノムインプリンティング ○石川亮1・永口貢2・池田陽子1・倉田のり3・木下哲1(1. 奈良先端大・バイオ・GCOREリサーチグループ植物生殖遺伝学2. 遺伝研・実験圃場3. 遺伝研・植物遺伝)
14:15	124 細胞質置換コムギにみられるミトコンドリア <i>cox</i> 遺伝子群の構造変異とそれに伴う遺伝子発現変動の解析 ○谷口和也・中西健太・上村達矢・堀川明彦・寺地徹(京産大工)	224 ダイズのラッカセイわい化ウイルス抵抗性の遺伝解析 ○猿田正恭・菊池彰夫・岡部昭典(近中四農研)	324 ジベレリンはイネにおいて花粉形成及び花粉管伸長を制御する 安益公一郎1・浅野賢治1・T. Chhun1・山本英司1・上口(田中)美弥子1・渡辺正夫2・北野英己1・芦苜基行1・松岡信1(1. 名古屋大生物機能開発利用研究センター2. 東北大院生命)
14:30	125 植物レクチンの生理機能とその応用—ゴーヤ種子由来抗ヘルクチン遺伝子の単離と解析 ○田中秀典1・外山潤1・須永基男2・磯部弘2・山本耕造2・谷村真一3・明石良4(1. JSTイノベーションサテライト宮崎2. 富士化学(株)3. 宮崎沖電気(株)4. 宮崎大フロンティア科学)	225 日本のダイズ品種におけるさび病抵抗性の評価 ○E. Benitez1・山岡裕一2・高橋良二1・高橋浩司1・W. Paiva3・S. U4・M. Dow4(1. 作物研究所2. 筑波大農林3. パラグアイ地域農業研究センター (CRIA) 4. ミャンマー中央農業研究所 (CARI))	325 イネ遠縁種間交雑で雑種不稔を誘導する遺伝子座 <i>S13</i> における複対立遺伝子の分化 ○小出陽平・池ヶ谷智仁・金澤章・佐野芳雄(北大院農)
14:45	◆座長 菊地理絵 (生物研)	◆座長 鈴木保宏 (作物研)	◆座長 掛田克行 (三重大)
14:45	126 イネいもち病圃場抵抗性遺伝子 <i>pi21</i> は親和性菌に対する初期応答性を高める ○福岡修一・溝淵律子・山本伸一・矢野昌裕(農業生物資源研究所)	226 リンドウ花の揮発成分の品種間差異 李在民1・菅原悦子2・横井修司1・高畑義人1(1. 岩手大学 農学部2. Fac. Edu., Iwate U.)	326 <i>Brassica rapa</i> における自家不和合性程度に関するQTL解析 ○畠山勝徳1・堀崎敦史2・新倉聡2・吉秋斎1・石田正彦1・松元哲1(1. 野菜茶業研究所2. (株) トーホク)
15:00	127 植物の鉄欠乏応答と耐性を制御する新規転写因子IDEF1の同定と解析 ○小林高範・小畑裕子・板井玲子・中西啓仁・高橋美智子・森敏・西澤直子(東大院・農学生命科学)	227 高カルコンアシタバの育種。II. カルコン含量の季節変動 ○南晴文1・谷口雅彦2・芝野真喜雄2・馬場きみ江2・白井靖子3・大澤良3(1. 東京島しょ農水セ2. 大阪薬大3. 筑波大学院生命環境科学)	327 テンサイS型細胞質雄性不稔株固有タンパク質preSATP6におよぼす稔性回復遺伝子 <i>Rf1</i> の作用 ○北崎一義・松平洋明・久保友彦・三上哲夫(北大院・農)
15:15	128 乾燥ストレスによりウメの葉組織で発現するタンパク質のプロテオーム解析 ○花田裕美1・橋本祐祐1・根来圭一1・林恭平1・永井宏平1・池上春香1・森本康一1,2(1. (財)わかやま産業振興財団 2. 近畿大生物理工)	228 小麦粉色相評価のためのスクヤナ式胚乳測色システムの開発 ○前島秀和・石川吾郎・鈴木雅博・伊藤裕之・平将人・中村俊樹・谷口義則(東北農研)	328 <i>Beta</i> 属植物におけるテンサイ稔性回復遺伝子 <i>Rf1</i> 相同遺伝子の構造 亀井陽子・久保友彦・三上哲夫(北大農学研究院)
15:30	129 イネ <i>d2</i> 変異体の解析 ○坂本知昭1・大西利幸2・水谷正治2・松岡信3・北野英己2(1. 名大高等研究院2. 京大化研3. 名大生物機能)	229 コムギ品種Chinese Springの染色体異常系統における胚乳色相の変異 ○石川吾郎・前島秀和・鈴木雅博・伊藤裕之・中村俊樹(東北農研)	329 ナタネcms遺伝子 <i>orf125</i> のコピー数の減少と稔性回復遺伝子 <i>Fr</i> の遺伝子型との関係 ○大嶋雅夫1・肥塚信也1・半田裕一2・今村順1(1. 玉川大農2. 農業生物資源研)
15:45	130 イネ膜貫通型レセプターDENSE PANICLE 1の細胞外ドメインの欠失が半稔性および穎花数の増加をもたらす ○田口文緒1・川越靖1・加藤浩2・小野寺治子1・田切明美1・原菜穂1・宮尾安藝雄1・廣近洋彦1・北野英己3・矢野昌裕1・土岐精一1(1. 生物研2. 作物研3. 名古屋大)	230 NMR代謝プロファイリングによる穀物形質評価(3) メタボロフェノタイプとジェノタイプ情報の比較解析 ○持田恵一1・古田拓2・篠崎一雄1・荻原保成3・菊地淳1,4(1. 理研PSC2. 横浜市大院国際総合3. 横浜市大木原生研4. 名大院生命農)	330 コセナCMSナタネのミトコンドリアCMS遺伝子 <i>orf125</i> 領域は分子間組み換えに由来する ○半田裕一1・今村順2(1. 農業生物資源研2. 玉川大農)

第4会場 (A301教室)	第5会場 (A302教室)	第6会場 (特殊プレゼンホール)	3月29日
◆座長 高倉由光 (JT)	◆座長 吉村康弘 (北見農試)	◆座長 半田裕一 (生物研)	
421 イネ白葉枯病抵抗性遺伝子 <i>Xa16</i> のマッピング ○田浦楠1・児玉裕也2・稲崎新2・一谷勝之3・河邊弘太郎1・小川紹文2(1. 鹿大遺伝子実験施設2. 宮大農3. 鹿大農)	521 ジャガイモ疫病菌接種による疫病圃場抵抗性の実生選抜 ○池谷聡・藤田涼平・千田圭一・入谷正樹・池谷美奈子・美濃健一(道立北見農試)	621 隔離圃場における組換えイネの生育特性評価方法および耐病性評価方法 ○矢頭治1・青木秀之1・中島敏彦2・平八重一之1・芦澤武人1・提著祥幸1・田淵宏朗1(1. 中央農研・北陸研究センター2. 東北農業研究センター)	13:30
422 ギニアグラス(<i>Panicum maximum</i> Jacq.)におけるゲノムサイズ推定と染色体イデオグラムの作成 ○秋山征夫1・山田-秋山仁美1・山ノ内宏昭2・中川仁2・高原学1・高溝正1・杉田紳一1・蝦名真澄1(1. 畜産研2. 生物研)	522 バレイショ育種における病虫害複合抵抗性系統の選抜のためのマルチプレックスPCR法の開発 ○森一幸・田宮誠司(長崎県総合農林試験場)	622 ダイコン1染色体添加型ナタネの根こぶ病抵抗性の評価 ○赤羽美智子1・金子幸雄1・畠山勝徳2・石田正彦2・房相佑1・松澤康男1(1. 宇都宮大農2. 野菜茶業研究所野菜育種研究チーム)	13:45
423 イネ短粒変異体の組織学的研究 ○稲葉規子1・安部優樹1・隠岐勝幸1・藤澤由紀子1・加藤久晴1・大城閑1・北野英己2・岩崎行玄1(1. 福井県立大学生物資源2. 名古屋大学生物機能開発利用研究センター)	523 北海道地域向き巨大胚米稲新品種「ゆきのめぐみ」の育成 ○横上晴都1・安東郁男2・黒木慎1・松葉修一1・清水博之1(1. 北海道農業研究センター2. 作物研究所)	623 スーパールートを用いたFOXハンティングシステムによる遺伝子の機能解析 ○橋口正嗣1・山重りえ2・田中秀典3・島尻恭香2・霍田真一4・市川尚斉5・中澤美紀5・関原明5・藤田美紀5・篠崎一雄5・松井南5・明石良1,4(1. 宮崎大フロンティア科学2. 宮崎大院農3. JSTイノベーションサテライト宮崎4. 宮崎大農5. 理研PSC)	14:00
424 自殖性普通ソバ系統に見出された極矮性変異体の解析 ○酒井真実子1・船木武人1・長野美緒2・クレイトンキャンベル2・相井城太郎1(1. 新潟薬科大学応用生命科学2. KADE研究所)	524 連続戻し交配とマーカー選抜によるインゲンマメ黄化病抵抗性系統の育成 ○江部成彦1・奥山昌隆2・佐々木純3・竹内徹3(1. 北見農試2. 十勝農試3. 中央農試)	624 ヤーコン由来のフラクタン生成遺伝子の単離とトランスジェニック植物におけるその遺伝子の発現 ○潘衛鋒1,2・高野真由美2・谷口美香2・玉掛秀人3・安西弘行2(1. 農工大 院 連大 生物工学2. 茨城大 遺伝子3. 道立中央農試)	14:15
425 ピュロインドリンA遺伝子欠失変異(PinA-D1b)型コムギの遺伝子解析とDNAマーカーの開発 鈴木孝子・○竹内徹(北海道立中央農業試験場)	525 水稲新品種「まんぶくもち」の品種特性と餅硬化性 ○林猛・田野真真(福井県農業試験場)	625 18kDaオレオシンプロモーターを利用したフィチン酸合成制御による低フィチン米の創出 ○桑野美緒1・高岩文雄2・吉田薫1(1. 東大農学生命科学2. 生物研・新生物資源創出)	14:30
◆座長 相井城太郎 (新潟薬科大)	◆座長 仲條真介 (岩手北農研)	◆座長 中村郁郎 (千葉大)	
426 アポミクス遺伝子単離に向けたアポスポリー特異的染色体領域(ASGR)への高密度AFLPマーカーの構築 ○蝦名真澄1・高原学1・秋山征夫1・山田-秋山仁美1・幸喜香織2・高溝正1・杉田紳一1(1. 畜産草地研究所2. 沖縄県畜産研究センター)	526 耐倒伏性の強い暖地向き酒米新品種「吟のさと」の育成 ○梶亮太1・坂井真1・田村克徳1・田村泰章1・岡本正弘2・溝淵律子3・平林秀介2・西村実3・深浦壮一4・富松高治5・山口末次6(1. 九沖農研2. 作物研3. 生物研4. 熊本農研5. 協友アグリ6. 元 九沖農研)	626 日本産タケノコ連植物の遺伝育種学的研究. XXIV. タケノコソクロバ(<i>Artona funeralis</i> Butler, 鱗翅目, マダラガ科)によって摂食される食草植物の種・属の範囲 ○村松幹夫(岡山大学名誉教授)	14:45
427 コシヒカリ新潟BL1~4号用異品種混入・花粉交雑検定DNAネガマーカーセットの開発 ○田淵宏朗1・橋本憲明2・林敬子1・吉田均1(1. 中央農研2. 新潟農総研)	527 耐冷・耐病・低アミロース米水稲新品種「ゆきむすび」の育成 ○永野邦明1・早坂浩志2・千葉文弥1・宮野法近3・佐々木都彦1・遠藤貴司4・我妻謙介1(1. 宮城古川農試2. 宮城農実大3. 宮城農園研4. 東北農研セ)	627 トウモロコシの品種改良にともなう根-菌根菌共生性の変化 ○小林創平1・村木正則2・榎宏征1・濃沼圭一1・加藤邦彦1・唐澤敏彦3・野副卓人1(1. 北海道農業研究センター2. 九州沖縄農業研究センター3. 中央農業総合研究センター)	15:00
428 RAPD-STSMマーカーによる坊主不知ネギ「足長美人」の品種識別 ○室田有里・渡邊学・鈴木秀章(千葉県農業総合研究センター)	528 加工適性に優れた水稲紫黒糯の新品種「中部糯114号(系統名)」の育成 ○坂紀邦1・寺島竹彦1・工藤藤2・加藤恭宏2・杉浦和彦2・城田雅毅2・遠藤征馬2(1. 愛知農総試山間2. 愛知農総試)	628 サトウキビから単離したMITE様配列 ○中山繁樹(農業生物研・植物)	15:15
429 アサガオEST-SSRマーカーの開発 ○大高麻美1・星野敦2・飯田滋2・福岡浩之3・仁田坂英二4・松藤絵理子1・山口大輔1・久保山勉1(1. 茨大農2. 基生研3. 農研機構野菜茶研4. 九州大学大学院理学研究院)	529 γ線照射で得られたヒエ短稈系統に見出された胚乳澱粉変異 ○守岡貴1・平塚真遊2・梅本貴之2,3・中野央子4・木内豊4・熊谷成子5・佐川了1・星野次汪1(1. 岩手大農寒冷フィールド教育研セ2. 筑波大院生命環境3. 作物研究所4. 岩手農研セ5. 岩手紫波総合高)	629 バレイショミトコンドリアDNAにおけるSSRマーカーの開発と多型性 ○保坂和良(神戸大食資源センター)	15:30
430 大きなゲノム断片を効率的に植物へ導入する新規バイナリーコスミドベクターの開発 ○高倉由光1・小森俊之1・峯利喜1・今山輝之1・石田祐二1・樋江井祐弘1・植木潤1・加藤紀夫1・小鞠敏彦1,2(1. JT植物イノベーションセンター2. JT経営企画部)	530 New Rice of Africa (NERICA) 品種の遺伝・育種学的特徴. II. NERICA18品種の生理生態学的特徴づけ ○小仁所邦彦・常松浩史・柳原誠司・生井幸子・池田良一・神代隆・福田善通(国際農研セ生物資源領域)	630 植物レクチンの生理機能とその応用—東南アジア産の <i>Momordica charantia</i> におけるレクチンの特性比較 ○外山潤1・田中秀典1・須永基男2・高橋順子3・谷慶彦3・明石良4(1. JSTイノベーションサテライト宮崎2. 富士化学(株)3. 大阪府赤十字血液センター4. 宮崎大フロンティア科学)	15:45

2日目(3月29日)午後			
3月29日	第1会場 (A204教室)	第2会場 (A208教室)	第3会場 (A312教室)
	◆座長 坂本知昭 (名大)	◆座長 渡辺啓史 (北大)	◆座長 田浦 悟 (鹿児島大)
16:00	131 イネ極晩生突然変異原因遺伝子 <i>Ehd3</i> の単離 ○山内歌子1・松原一樹1・王子軒2・美濃部侑三2・矢野昌裕1(1. 農業生物資源研究所2. (株)植物ゲノムセンター)	231 ダイズ品種 Harosoy の難裂莢性に関するQTL解析 ○船附秀行1・山田哲也2・羽鹿牧太2・辻博之1・石本政男1・藤野介延3(1. 北海道農研2. 作物研3. 北大農学研究院)	331 高精度連鎖解析によるイネのF ₁ 花粉不稔遺伝子 <i>S22</i> 領域のダイセクション ○阪田光和・土井一行・山形悦透・Sobrizal・吉村淳(九大院農)
16:15	132 コムギ MADS-box 遺伝子における同祖遺伝子間の構造変異の解析 ○漆川直希1・宅見薫雄2・川浦香奈子3・荻原保成3・村井耕二1(1. 福井県大生物資源2. 神戸大院農3. 横浜市大木原生研)	232 大豆品種「ハヤヒカリ」の難裂莢性QTLとその他諸形質との関係 ○山田哲也1・高橋浩司1・船附秀行2・湯沢正明3・羽鹿牧太1(1. 作物研究所2. 北海道農研3. 栃木県農試)	332 イネのF ₁ 花粉不稔遺伝子 <i>S22</i> における新たな対立遺伝子 ○山田哲也1・土井一行・ソブリザール・倉員俊雄・宮崎雄太・吉村 淳(九大院農)
16:30	133 パンコムギ <i>WAP2</i> 遺伝子の機能解析 ○川浦香奈子・一色正之・齋藤美沙・荻原保成(横浜市大木原生研)	233 イネ蒴裂開遺伝子 <i>A1D1</i> (<i>Anther dehiscence1</i>) の約組織における一過的発現 于占芹・奥本裕・○山本匠・築山拓司・中崎鉄也・谷坂隆俊(京都大学大学院農学研究科)	333 ハマダイコンにおける未知稔性回復遺伝子に連鎖するDNAマーカーの開発 ○安本景太・富岡関子・松本欣剛・寺地徹・山岸博(京都産大工学)
16:45	134 オオムギ短日出穂性QTL、 <i>Ppd-H2</i> と <i>FT-like</i> 遺伝子 <i>HvFTL5</i> の関係 ○菊地理絵1・川東広幸1・塔野岡卓司2・安藤露3・半田裕一1(1. 生物研2. 作物研3. STAFF研)	234 イネ種子におけるホスホリパーゼDの欠失をもたらすSNPの同定とそれを利用したホスホリパーゼD欠失系統選抜方法の開発 ○鈴木保宏・竹内善信・青木法明・白澤健太(独)作物研究所)	334 稔性回復遺伝子に連鎖するDNAマーカーのハマダイコン集団への適用 ○松本欣剛・安本景太・寺地徹・山岸博(京都産大工)
17:00		235 ビール麦育種における遺伝子多型の応用。 I. 高品質ビール麦品種「はるな二条」と野生オオムギ「H602」の倍加半数体集団で検出された麦芽品質に関するQTL ○木原誠1・周天魁1・廣田直彦1・飯牟礼隆1・保木健宏1・林 勝弘1・伊藤一敏1・佐藤和広2(1. サッポロビール(株)バイオ研究開発部2. 岡大資生研)	335 オオムギ野生種のSハプロタイプ特異的タンパク質の解析 ○掛田克行・栢田健人(三重大生物資源)

3月29日	A207教室	A206教室	A310教室
17:30	グループ研究集会1 育種学と農学のこれからを考える16 世話人：宇賀優作(農業生物資源研究所) 吉岡洋輔(野菜茶業研究所) 話題提供 「栽培化遺伝子から見たダイコンの多様化」 王寧(筑波大学) 「アブラナ属遺伝学の現状 ~日本と世界~」 諏訪部圭太(東北大学)	グループ研究集会2 米の食味に関する育種と遺伝解析 世話人：和田卓也(福岡農総試) 竹内善信(作物研) 小林麻子(福井農試) 話題提供 「食味に関する形質評価手法の研究の現状と展望」 鈴木啓太郎(食品総合研究所) 「食味に関する遺伝解析研究の現状と展望」 竹内善信(作物研究所)	グループ研究集会3 第36回生物進化・細胞遺伝懇話会 世話人：木庭 卓人(千葉大園芸) 森 直樹(神戸大院農) 話題提供 「栽培パレイシヨの起源と進化」 保坂 和良(神戸大・食資源教育研究センター)

2日目(3月29日)午後

第4会場 (A301教室)	第5会場 (A302教室)	第6会場 (特殊プレゼンホール)	3月29日
<p>◆座長 林 正紀 (生物研)</p> <p>431 ダイズわい化ウイルスを媒介するジャガイモヒゲナガアブラムシに対する抵抗性のQTL解析とDNAマーカー開発 ○紙谷元一・佐々木純2・齋藤美樹1・兼平修2・橋本庸三1・三好智明3・田中義則2・鴻坂扶美子2・大西志全2・田澤暁子3・神野裕信2・竹内徹2(1. 北海道立上川農業試験場2. 北海道立中央農業試験場3. 北海道立十勝農業試験場)</p> <p>432 「Adams」由来ジャガイモヒゲナガアブラムシ抵抗性QTLの戻し交配による導入はジャガイモヒゲナガアブラムシ抵抗性およびダイズわい化病抵抗性を向上させる ○大西志全1・三宅規文1・兼平修1・鴻坂扶美子1・三好智明2・竹内徹1・堀田治邦1・紙谷元一3・田中義則1(1. 北海道立中央農業試験場2. 北海道立十勝農業試験場3. 北海道立上川農業試験場)</p> <p>433 ジャガイモYウイルス抵抗性遺伝子Rychcおよびジャガイモシストセンチュウ抵抗性遺伝子H1の高密度連鎖地図と高精度DNAマーカー ○竹内徹1・佐々木純1・鈴木孝子1・堀田治邦1・池谷聡2(1. 道立中央農試2. 道立北見農試)</p> <p>434 ダイズモザイクウイルス抵抗性遺伝子の連鎖マーカー開発と実用大豆品種への導入 ○高田吉丈1・河野雄飛1・加藤信1・猿田正恭2・中本有美3・石本政男3・湯本節三1(1. 東北研究2. 近中四農研3. 北農研)</p>	<p>◆座長 平林秀介 (作物研)</p> <p>531 酒造好適米新品種「三重酒18号」の育成 ○山川智大1・村上高敏2・宮本啓一1・橋尚明1・橋爪不二夫1・松井未来生1(1. 三重科技七農研部2. 三重中央農改)</p> <p>532 半矮性・低アミロースヒエ新系統の育成 ○仲條真介1・長谷川聡2・漆原昌二1・阿部知子3・藤田智美4・阿部陽2・大清水保見1(1. 岩手県北農研2. 岩手農研3. 理研仁科センター4. 盛岡農改)</p> <p>533 <i>indica</i> イネの遺伝的背景において <i>U1</i> 遺伝子が収量性に及ぼす作用 ○早川宗志1・M. Barnor1・Bahadur KChar12・井芹真也1・室崎敦志1・竹村泰雄1・浦部光治1・村井正之1(1. 高知大学農学部2. Nepal Agricultural Research Council)</p> <p>534 <i>indica</i> 品種におけるヘテロシスおよび <i>U1</i> 遺伝子が収量に及ぼす作用 ○M. Barnor1・早川宗志1・Bahadur KChar12・井芹真也1・室崎敦志1・竹村泰雄1・浦部光治1・村井正之1(1. 高知大学農学部2. Nepal Agricultural Research Council)</p>	<p>◆座長 安西弘行 (茨城大)</p> <p>631 ハス (<i>Nelumbo nucifera</i>) SSRマーカーの開発と花蓮品種の分類 ○久保中央1. 2. 平井正志1. 2. 金子明雄3. 田中大三4. 嘉住熊二4(1. 京都府大院農2. 京都農資セ3. 京都植物園4. 京都フラワーセ)</p> <p>632 メロンにおける葉緑体ゲノムの遺伝的多様性とその起源に関する研究 ○田中克典1・明石由香利2・アルキンヤシェン2・西田英隆2・M. Khaing3・佐藤洋一郎1・加藤鎌司2(1. 地球研2. 岡山大学農学部3. VFRDC, ミャンマー)</p> <p>633 SSR多型に基づく中国メロン“ハミウリ”の多様性ならびに系統分類の解析 ○アルキンヤシェン1・田中克典2・明石由香利1・西田英隆1・加藤鎌司1(1. 岡山大学農学部2. 地球研)</p> <p>634 イネ属における <i>Po1A1</i> 遺伝子第20イントロンの多型 高橋弘子1・○真壁壮2・中村郁郎1(1. 千葉大園芸学研究所2. 千葉大園芸学部)</p>	<p>16:00</p> <p>16:15</p> <p>16:30</p> <p>16:45</p> <p>17:00</p>

A302教室 グループ研究集会4	A301教室 グループ研究集会5
<p>考古学データから何が見えるか？</p> <p>世話人：矢野健太郎 (東大) 清水顕史(滋賀県立大)</p> <p>話題提供 「西アジアの遺跡発掘からみた 農耕のはじまりと植物の栽培化」 丹野研一 (総合地球環境学研究所・上級研究員)</p>	<p>ムギ類全ゲノムショットガンシーケンシングの可能性とインパクト</p> <p>世話人：佐藤和広</p> <p>話題提供 「ムギ類全ゲノムショットガンシーケンシングの可能性とインパクト」 佐藤和広 (岡山大学資源生物科学研究所 大麦・野生植物資源研究センター)</p>

講演番号・座長一覧

	第1会場 A204教室	第2会場 A208教室	第3会場 A312教室	第4会場 A301教室	第5会場 A302教室	第6会場 特殊プレゼンホール
28日午前	101-104 山崎将紀 9:00-10:00	201-204 藤井 潔 9:00-10:00	301-304 伊藤純一 9:00-10:00	401-404 笹沼恒男 9:00-10:00	501-504 藤野賢治 9:00-10:00	601-604 石川隆二 9:00-10:00
	105-108 草場信 10:00-11:00	205-208 青木法明 10:00-11:00	305-308 宅見薫雄 10:00-11:00	405-408 西岡美樹 10:00-11:00	505-508 宇賀優作 10:00-11:00	605-608 寺地 徹 10:00-11:00
	109-112 貴島祐治 11:00-12:00	209-212 熊丸敏博 11:00-12:00	309-312 佐藤 豊 11:00-12:00	409-412 秋本正博 11:00-12:00	509-512 清水顕史 11:00-12:00	609-612 村井耕二 11:00-12:00
29日午前	113-116 坪倉康隆 9:00-10:00	213-216 中園幹生 9:00-10:00	313-316 横井修司 9:00-10:00	413-416 久保中央 9:00-10:00	513-516 大澤 良 9:00-10:00	613-616 雑賀啓明 9:00-10:00
	117-120 千田峰生 10:00-11:00	217-220 吉田 薫 10:00-11:00	317-320 宍戸理恵子 10:00-11:00	417-420 佐藤和広 10:00-11:00	517-520 石井卓朗 10:00-11:00	617-620 福岡浩之 10:00-11:00
29日午後	121-125 田口文緒 13:30-14:45	221-225 持田恵一 13:30-14:45	321-325 久保友彦 13:30-14:45	421-425 高倉由光 13:30-14:45	521-525 吉村康弘 13:30-14:45	621-625 半田裕一 13:30-14:45
	126-130 菊地理絵 14:45-16:00	226-230 鈴木保宏 14:45-16:00	326-330 掛田克行 14:45-16:00	426-430 相井城太郎 14:45-16:00	526-530 仲條真介 14:45-16:00	626-630 中村郁郎 14:45-16:00
	131-134 坂本知昭 16:00-17:00	231-235 渡辺啓史 16:00-17:15	331-335 田浦 悟 16:00-17:15	431-434 林 正紀 16:00-17:00	531-534 平林秀介 16:00-17:00	631-634 安西弘行 16:00-17:00

口頭発表講演方法

口頭発表の発表形式はコンピュータプレゼンテーションのみです。予備用の OHP の用意はありません。発表には、必ずご自分のパソコンをご使用ください。パソコンの不具合に供えるため運営委員会において予備のパソコン(Windows XP のみ、Power Point)を準備致しますので、必ずデータのバックアップを入れた USB メモリースティックをご持参下さい。また、大会当日、会場には試写室を設け試写用液晶プロジェクターを用意いたします。あらかじめ余裕を持って試写用液晶プロジェクターにて文字化け、段落の崩れ、動作などをご自身で確認してください。D-sub15 ピン（ミニ）のケーブルをご用意いたしますので、試写用液晶プロジェクターにてケーブルの接続を確認して下さい。一部のノートパソコンでは変換用のアダプタが必要な場合がありますので、必ずお持ち下さい。ノートパソコンから外部モニターや液晶プロジェクターに正しく出力されるかあらかじめ確認しておいて下さい。

注意点

1. 画面サイズ（解像度）に関しては、発表に使用する液晶プロジェクターは全て XGA（1024×768）に統一してありますので、ご使用のノートパソコンの解像度を XGA に合わせてからレイアウトの確認をしてください。このサイズより大きい場合、スライドの周囲が切れてしまいますので、画面の設定を XGA に必ず合わせて下さい。
2. 外部画像出力コネクタが D-sub15 ピン（ミニ）であることを確認してください。違う場合は変換用のアダプタをご用意下さい。
3. ノートパソコンのスクリーンセーバーならびに省電力設定は事前に解除しておいてください。
4. 発表会場のモニター切り替え器には 4 本の D-sub15 ピン（ミニ）のケーブルが接続されており、A, B, C, D の記号が付いています。会場の次講演者席、次次講演者席には記号の付いたケーブルが来ていますので記号を確認の上、接続してください。
5. 会場にて電源を用意していますので、電源コードを必ずお持ちください。バッテリートラブルが生じないように次講演者席、次次講演者席近辺に電源タップを用意しておきますので、必ずご利用下さい。電源タップと演台の間は一般的なノートパソコンの電源コードで間に合うようにいたします。
6. 次講演者席、次次講演者席に着いてケーブルを接続したらノートパソコンを起動させてください。ただし、起動音は周りの迷惑になりますのであらかじめミュート（消音）にしておいてください。
7. 画像出力先を外部またはミラーリングに設定しておいてもケーブルが接続されていないと液晶モニターのみ自動的に切り替わってしまう機種があります。その場合にもあわてずに素早く対処できるように、ファンクションキー等を用いた出力先の切り替え法もご確認下さい。
8. 係員が演壇においてコンピュータに接続したケーブル端子の A, B, C, D の記号に合わせてモニター切り替え器のスイッチを切り替えます。接続端子には A, B, C, D の記号が付いておりますので係員に見えるようにしてください。切り替えがうまくいかなかった場合はコンピュータの画面出力先を確認してください。なお、トラブルの時間も講演時間にふくまれますのでご注意下さい。
9. 動画を用いられる場合、Windows XP に関して、出力先をミラーリングに設定してあると動画は液晶画面には映りませんがプロジェクタから投影されないことがあります。その際は、出力先を外部のみに切り替えてください。
10. 試写室には大会期間中常時専門スタッフがおりますので、上記の設定等について不明の点はお尋ね下さい。
11. そのほか、トラブル時用に必ずデータのバックアップを入れた USB メモリースティックも用意して下さい。

その他、ご不明の点は明治大学育種学会運営委員会(ikushu08@isc.meiji.ac.jp)にお問い合わせください。

ポスター発表プログラム

分類群/番号

演題・演者

品種育成

- P01 早熟でモザイク病に強い納豆用極小粒大豆品種「すずほのか」
○加藤信・高田吉丈・河野雄飛・湯本節三(東北農研)
- P02 すっきりした酒ができる低グルテリン酒米「みずほのか」の育成
○飯田修一・春原嘉弘1・出田収1・松下景1・前田英郎2・根本博2・石井卓朗2・吉田泰二3・中川宣興4・坂井真6・古川幸子6・水間智哉6・清川良文6・若井芳則6(1. 近中四農研2. 作物研3. 東北農研4. 元中国農試5. 九冲農研6. 黄桜株式会社)
- P03 短稈コシヒカリ型の水稲品種『ヒカリ新世紀』の地域特性
○富田因則(鳥取大農分子遺伝)
- P04 DNAマーカーを用いたイネいもち病準同質遺伝子系統群における抵抗性遺伝子の確認
○N. Nguyen1・HairmansisAris2・小林伸哉3・Telebanco-YanoriaJeanie M.3・川崎顕子1・林長生4・福田普通1(1. 国際農研セ生物資源領域2. インドネシア稲研究センター3. 国際稲研究所4. 生物研)
- P05 製パン適性をもつ温暖地向け硬質小麦新品種「ユメシホウ」の育成
○関昌子1・乙部千雅子1・松中仁1・藤田雅也2・吉岡藤治1・柳沢貴司3・吉田久1(1. 作物研究所2. 九州沖縄農業研究センター3. 近畿中国四国農業研究センター)
- P06 比重選を利用した小麦雑種集団種子からの硬質粒選抜法
○八田浩一・小田俊介(九州沖縄農業研究センター筑後研究拠点)
- P07 ソバの自家和合性(S^a)を用いた近交系の作成と自家不和合性(s)を利用した一代雑種育種法の検討
○六笠裕治・鈴木達郎・本田裕(農研機構・北海道農業研究センター)

遺伝資源・系統分化

- P08 ミャンマーに自生する野生イネ集団の遺伝的多様性評価2. 年次変動について
藤田千絵子1・相澤義春1・○穴戸理恵子1・野村和成1・秋本正博2・石井尊生3・佐藤雅志4・Than SeinU5・Tin HtutU5(1. 日本大生物資源2. 帯畜大3. 神戸大農4. 東北大院生命科学5. ミャンマー農業研究局)
- P09 SSR解析によるリョクトウ(*Vigna radiata*)ジーンプールの遺伝的多様性
○D. Vaughan1・C. Sangiri2・加賀秋人1・友岡憲彦1・黒田洋輔1・伊勢村武久1・P. Srinives2(1. 農業生物資源研究所2. カセサート大学)
- P10 生息域外保全が遺伝的同等性に与える影響: パンコムギ遺伝資源を例に
○平野僚子1・S. Jatoi1,2・河瀬真琴3・菊池彰1・渡邊和男1(1. 筑波大院生命環境2. パキスタン国立農業研究機関3. 生物研)
- P11 コムギ長穎遺伝子の選択的遺伝子浸透の解析
○小菅一真・渡部信義・久保山勉(茨城大学農学部)
- P12 植物界におけるAu SINEの分布と進化について
○八木映樹1・秋田徹2・安井康夫1・河原太八1(1. 京大院農学2. 日本新薬株式会社)
- P13 葉緑体DNAの変異から見たチモフェービ系コムギの遺伝的多様性と起原
近藤安隆1・石井尊生2・河原太八3・J. Valkoun4・中村千春1・○森直樹1(1. 神戸大農学研究科植物遺伝2. 神戸大農学研究科植物育種3. 京大農学研究科4. 国際乾燥地農業研究センター)
- P14 コシヒカリ育成系譜上の水稲品種における第2染色体食味QTL領域の遺伝子型
○小林麻子・富田桂(福井県農業試験場)
- P15 アワ遺伝資源の多様性評価へのSSRマーカーの利用
○福永健二1・河瀬真琴2(1. 県立広島大学生命環境学部2. 農業生物資源研ジーンバンク)
- P16 STS/SNPマーカーによる長野県に発生する雑草性赤米バイオタイプの判別と在来赤米系統との類縁性の解析
○牛木純1・赤坂舞子1・田淵宏朗2・細井淳3(1. 中央農研2. 中央農研・北陸3. 長野県農事試)

変異創成

- P17 ナショナルバイオリソースプロジェクト「トマト」 Micro-Tomを基盤としたリソース整備事業について
○秋廣高志1・青木考2・溝口剛1・福田直也1・松倉千秋1・棚瀬京子1・江面浩1(1. 筑波大学 生命環境科学研究科 遺伝子実験センター2. かずさDNA研究所 ゲノムバイテク研究室)
- P18 パンコムギ由来のABA感受性突然変異系統の解析
○小林史典1,2・宅見薫雄3・半田裕一1(1. 生物研2. 日本学術振興会特別研究員3. 神戸大院農)
- P19 ガンマ線を照射した普通ソバからの高抗酸化能系統の選抜
○森下敏和1・清水明美1・山口博康2・出花幸之介3(1. 生物研放育場2. 農研機構花き研3. 沖縄農研センター)
- P20 シロイヌナズナへの重イオンビーム変異誘発におけるLET効果とDNA変異
○風間裕介1・斉藤宏之1・山本義治2・林依子1・阿部知子1(1. 理研 仁科センター2. 名古屋大学 遺伝子実験施設)

- P21 胚珠培養によるカッソソウ(*Primula kisoana*; Cortusoides節)とオブコニカ(*P. obconica*; Obconicolisteri節)の節間雑種の作出
○鈴木幹奈1・林麻衣2・大橋広明3・大谷基泰4・加藤淳太郎1・三位正洋2(1. 愛知教育大生物2. 千葉大院園芸3. 愛媛大農4. 石川県大生資工研)
- P22 倍加(*Nicotiana debneyi*)×*N. tabacum*の雑種実生におけるプログラム細胞死を伴った致死性の緩和
○野村茂樹・丸橋亘(明大農)
- P23 *Brassica napus*とその両親種(*B. rapa*, *B. oleracea*)間の交雑親和性差異の解析
○玉田深平・横井修司・高畑義人(岩手大農)
- P24 ウメの未熟子葉を用いた形質転換における品種間差異
○高居恵愛1・立間裕美2・米森敬三2・花田裕美1・田尾龍太郎2(1. わかやま産業振興財団2. 京大農学研究所)
- P25 アグロバクテリウムによるイネ形質転換の改良
○清水僚子・安西弘行(茨城大遺伝子)
- P26 パーティクルガンを用いたコムギ形質転換における改良方法の効果
○安倍史高・中村信吾・蝶野真喜子・川口健太郎・芦川育夫(農研機構作物研)
- P27 ダツタンソバと普通ソバ種間雑種作出のための胚珠培養法の検討
M. Asaduzzaman1・○南峰夫2・森田善博3・松島憲一2・根本和洋2(1. 岐大院連合農学(信大)2. 信大院農学研究所3. (株)ミヨシ)
- P28 メラトニン高含有形質転換トマトの作出に向けて
○岡崎正晃1・樋口賢二2・塙優1・秋廣高志1・白岩善博1・江面浩1(1. 筑波大院生命環境2. 筑波大生物資源)
- P29 RNAi法を用いたカフェイン合成酵素遺伝子抑制のためのチャ(*Camellia sinensis*)形質転換の試み
○古川一実1・蔭山夏美1・加藤美智代1・柳田章2・常吉俊宏3・後藤慶一4・原征彦4・水野幸一5・藤村達人6・加藤美砂子7・芦原垣7(1. 沼津高専物質工学科2. 株式会社スズキ3. 静岡理工科大学理工学部4. 三井農林株式会社5. 秋田県立大生物資源科学部6. 筑波大学大学院生命環境科学研究科7. お茶の水女子大学大学院生命科学)

変異解析

- P30 ビール大麦における葉の白斑の遺伝様式とその発現が生育・収量に及ぼす影響
○馬場孝秀・塚崎守啓・高田衣子・古庄雅彦(福岡県農業総合試験場)
- P31 イネ*spw1-cl5*変異体の栽培特性と閉花受粉性の安定性
○大森伸之介1・佐藤光2・長戸康郎3・吉田均1(1. 中央農研北陸研究センター2. 九大院農3. 東大院農学生命科学)
- P32 秋まき小麦の雪腐黒色小粒菌核病抵抗性のQTLマッピング
○西尾善太1,3・入来規雄2・伊藤美環子1・谷尾昌彦1・田引正1・山内宏昭1・T. Murray3(1. 北海道農業研究センター2. 作物研究所3. ワシントン州立大学)
- P33 陸稲「山稗禾」のいもち病菌場抵抗性に関するQTL解析
○眞部徹・岡本和之・平山正賢・宮本勝・平澤秀雄(茨城県農業総合センター生物工学研究所)
- P34 イネ品種・系統の低アミロース性に関するQTL解析
松葉修一・船附稚子・黒木慎・横上晴都・○清水博之(北海道農業研究センター)

抵抗性・品質成分

- P35 メロンつる割病抵抗性遺伝子*Fom-1*に連鎖するDNAマーカーの有効性の評価
○手塚孝弘1・和気慶介1・葛谷真輝2・石川友子1・高津康正3・宮城慎1(1. 茨城農総生工研2. 茨城農総セ筑西農改セ3. 茨城農総セ農大)
- P36 イネいもち病菌の定量PCRに基づくいもち病抵抗性の評価
○溝淵律子・福岡修一・山本伸一・矢野昌裕(生物研)
- P37 コシヒカリとKasalathの交雑に由来する染色体断片置換系統群(CSSLs)39系統を用いたイネごま葉枯病抵抗性の遺伝分析
○佐藤宏之1・安東郁男1・竹内善信1・平林秀介1・荒瀬榮2・木原淳一2・根本博1(1. 作物研究所2. 島根大)
- P38 インド型イネ品種カサラスの新規イモチ抵抗性遺伝子の検出
○竹久妃奈子1・安田美智子1・福田普通2・小林伸哉3・林長生4・仲下英雄1・佐藤雅志5・阿部知子1(1. 理研仁科センター2. 国際農林水産業研究センター3. 国際イネ研究所4. 農業生物資源研究所5. 東北大院生命科学)
- P39 植物ゲノム断片の大量評価・選抜手法*TraitExplorer*™による乾燥ストレス耐性を付与するゲノム断片の同定
○柏原正和・岡一郎・宇佐美悟・高倉由光・小森俊之・峯利喜・樋江井祐弘・石田祐二・竹森尚樹・植木潤・久保友明・加藤紀夫・小鞠敏彦(JT植物イノベーションセンター)
- P40 飼料稲専用品種を中心にした混植のいもち病発病抑制
○中島敏彦1・関矢博幸1・橋雅明1・中込弘二1・善林薫1・鬼頭英樹1・矢治幸夫2・山口誠之1・押部明德1(1. 東北農業研究センター2. 中央農業総合研究センター)
- P41 ミトコンドリアでの鉄硫黄クラスター形成に関わるイネ*Isu*遺伝子の機能解析
○津釜大侑・西内俊策・高野哲夫(東大アジアセンター)
- P42 アルカリ性塩耐性極強野生植物*Puccinellia tenuiflora*からのK⁺ channel β subunit (*KPutB1*)の単離と機能解析
○S. Ardief1・西内俊策1・柳参奎2・高野哲夫1(1. 東大アジアセンター2. 中国東北林業大学)
- P43 アルカリ性塩耐性極強野生植物*Puccinellia tenuiflora*の転写因子(*PutDREB*)の機能解析
○張常青1,3・柳参奎2・高野哲夫3(1. 中国農業大学2. 中国東北林業大学3. 東大アジアセンター)
- P44 アブラムシ接種によるサツマイモ帯状粗皮病抵抗性検定法の確立とウイルス抵抗性組換えサツマイモの抵抗性評価
○岡田吉弘・齋藤彰(九州沖縄農研)

- P45 コムギの低温適応に関連するラフィノース合成系酵素遺伝子の解析
○下坂悦生・小沢憲二郎(北海道農研)
- P46 栽培ヒエの品質に関する系統間変異
○鎌田拓也1・平将人2・清水恒2・佐川了1・星野次汪1(1. 岩手大農2. 東北農研セ)
- P47 国内産小麦の製粉性評価に関する研究.1.小麦粉中へのふすま切れ込み(混入)値の測定
○中村洋1・田引正2・谷尾昌彦2・伊藤美環子2(1. 農研機構作物研究所2. 農研機構北海道農研)
- P48 コムギ春播性遺伝子に関する準同質遺伝子系統群の製粉特性
○小田俊介1・関昌子2・八田浩一1・藤田雅也1・松中仁2・波多野哲也1・乙部千雅子2・河田尚之1・加藤鎌司3(1. 九州沖縄農業研究センター2. 作物研究所3. 岡山大学農学部)
- P49 Influences of Protein Characteristics on Processing and Texture of Noodles from Korean Wheats with 1Dx2.2+1Dy12 Subunits in High Molecular Weight Glutenin
金孝漢1・朴哲洙2・禹仙熙1・姜天植2・朴種鐵2・金學信2・鄭榮根2・金丁坤2(1. 植物資源学科, 忠北大学校2. 作物科 學院)
- P50 Relationships Among Polyphenol Oxidase Activity, Total Polyphenol and Chemical Composition from Korean Wheats
姜天植1・朴哲洙1・禹仙熙2・金基現2・朴種鐵1・金學信1・鄭榮根1・金丁坤1(1. 作物科學院2. 植物資源学科, 忠北大学 校)
- P51 The Effect of the 2RL Translocation Korean Wheat Lines on Agricultural Traits and End-Use Quality
朴哲洙1・徐容元2・禹仙熙3・鄭丞根3・鄭榮根1・金丁坤1(1. 作物科學院2. 生命工學院 高麗大学校3. 植物資源学科 忠 北大学校)
- P52 炊飯米の食味値に関するQTLの実証
○井上敬1・和田卓也1・坪根正雄1・尾形武文1・安井秀2・土井一行2・吉村淳2・松江勇次1(1. 福岡農総試2. 九大院農)
- P53 オオムギの全プロアントシアニンフリー遺伝子に関する準同質遺伝子系統の作出
○塔野岡卓司・青木恵美子・吉岡藤治(農研機構作物研究所)
- P54 日・印モチ突然変異間交配に由来するRI系統における澱粉特性の多様性
T. Phan1・西愛子1・竹本陽子1・大坪研一2・佐藤光1(1. 九大院農学研究院2. 食総研)
- P55 西洋ナタネ遺伝資源における油分含量およびタンパク質含量の遺伝的変異性
○ケネディ(赤坂)庸子1.2・横井修司2・高畑義人2(1. (株)コンボン研究所2. 岩手大学農学部)
- P56 サツマイモの葉身部におけるカフェ酸誘導体含量の年次変動
○甲斐由美・吉永優・片山健二・境哲文・奥野成倫(九州沖縄農研)
- P57 タダチャマメ品種の子実におけるリボキシゲナーゼの活性
○鈴木圭・阿部利徳(山形大農)

発育生理

- P58 コムギにおける3種類のFRUITFULL-like遺伝子の機能解析
○金城博子1・漆川直希1・宅見薫雄2・村井耕二1(1. 福井県大生物資源2. 神戸大院農)
- P59 薫蒸作物の育成:クレオメ(*Cleome hassleriana*)の発芽特性
○張新望1.2・下地格1・前田征之3・橋爪健1(1. 雪印種苗(株)2. 千葉大学園芸学研究科3. 新潟県農業総合研究所)
- P60 生殖細胞の初期発生が異常になるイネ*mell*突然変異体を用いたマイクロアレイ解析
○上田弥生1.2・野々村賢一1・藤田雅丈1・堀内陽子1・倉田のり1(1. 国立遺伝学研究所2. 総研大生命科学)
- P61 コセナダイコンの稔性回復遺伝子がコードするPPRタンパク質の作用機構の検討
○小林健人・今村順・肥塚信也(玉川大農)
- P62 イネ科アボミクス性ギニアグラスの自家不和合性のメカニズム
○陳蘭莊1・閔黎明1・杉田亘2・市川裕草3・浜口卓郎4(1. 南九州大学園芸2. 宮崎県農試生物工学3. 生物研新生物グルー プ4. 宮崎県農業普及所)
- P63 岡山県に発生する雑草イネの小枝梗構造と自然脱粒性の比較解析
○赤坂舞子1・小西左江子2・井澤毅2・牛木純1(1. 中央農研2. 生物研)
- P64 リンドウ新規エステラーゼ遺伝子に見られる対立遺伝子間不均等発現とその品種間差異
○日影孝志1・小葉清美2・齋藤くれあ2・高畑義人1・齊藤靖史2・堤賢一2(1. 岩手大院・農・連合農学研究科2. 岩手大・農・ 寒冷バイオシステム研究センター)
- P65 二粒系コムギとタルホコムギの種間雑種でみられる2タイプのハイブリッドネクロシスの比較解析
○水野信之・細木直樹・朴杓允・宅見薫雄(神戸大学大学院農学研究科)

増殖

- P66 イネ薬の二段階培養法の改良.
○岡本吉弘・我妻尚広(酪農学園大学)

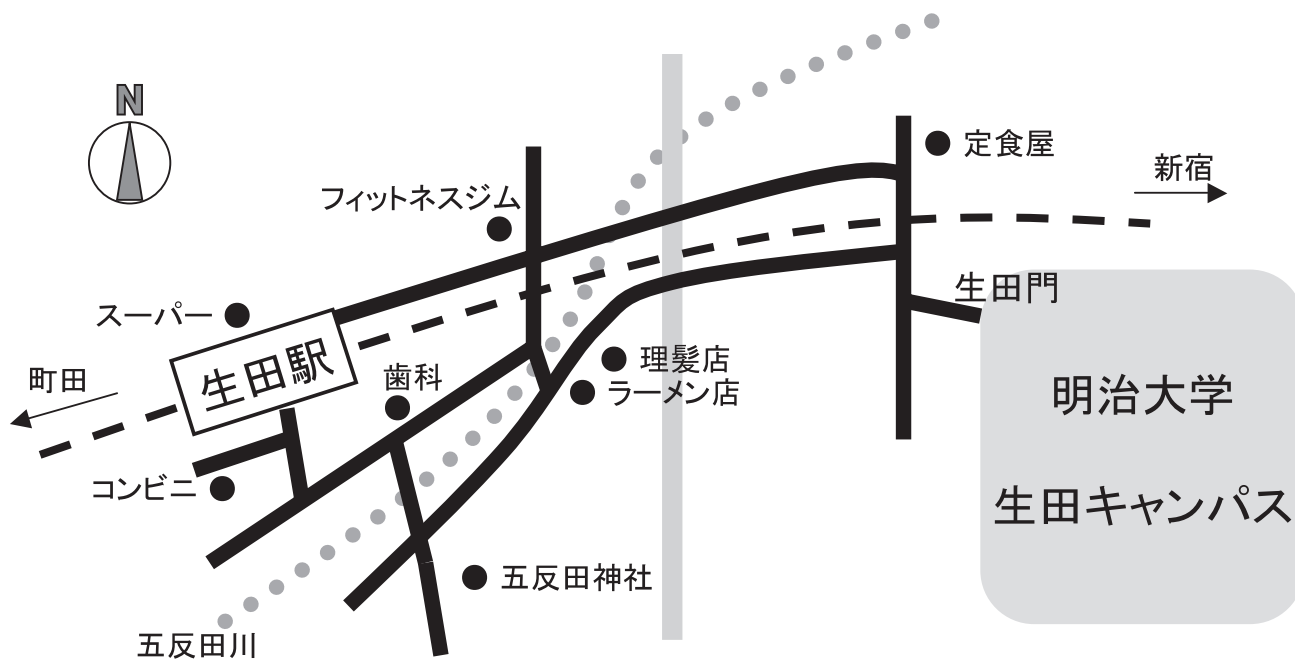
ゲノム解析

- P67 全ゲノムSNPアレイによるオオムギ連鎖地図の作製と遺伝解析
○佐藤和広1・南角奈美1・T. Close2・武田和義1(1. 岡大資生研2. カリフォルニア大)
- P68 オオムギ萎縮病抵抗性遺伝子 *rym7t* を選抜できるDNAマーカーの選定
○高田衣子・馬場孝秀・塚崎守啓・内村要介・古庄雅彦(福岡県農業総合試験場)

遺伝子・タンパク質

- P69 シロイヌナズナ胚特異的PHD-fingerタンパク質(ESP)の欠損は初期胚の致死を引き起こす
○津和本亮・横井修司・高畑義人(岩手大学農学部)
- P70 カキ果実の発育および成熟由来cDNAライブラリーのEST解析
○中務明1・中川強2・矢野健太郎3・板井章浩4・小林伸雄1・板村裕之1(1. 島根大生物資源科学2. 島根大総科センター遺伝子3. 東大院農学生命科学4. 鳥取大農)
- P71 シクラメン黄花色判別DNAマーカーの開発
○松古浩樹1・石垣 要吾2・広瀬貴士2(1. 岐阜県生物工学研究所2. 岐阜県中山間農業研究所中津川支所)
- P72 タルホコムギの2つの乾燥応答性DREBホモログに関する分子集団遺伝学的解析
寺嶋彰弘・○宅見薫雄(神戸大学大学院農学研究科)
- P73 登熟温度環境が与えるコムギ種子休眠性への影響に関する網羅的遺伝子発現解析
○中村信吾1・中園江2・三浦秀穂3・持田恵一4・川浦香奈子5・荻原保成5・安倍史高1・蝶野真喜子1・川口健太郎1・芦川育夫1(1. 作物研究所2. 中央農業総合研究センター3. 帯広畜産大学4. 理化学研究所 植物科学研究センター5. 横浜市立大学 木原生物学研究所)
- P74 低温によるRNAiノックダウン効果の制御
○久米浩平1・小松晃2・若狭暁3・堤賢一1・斎藤靖史1(1. 岩手大・農・寒冷バイオ2. 農研機構・作物研3. 東農大・農)
- P75 葉の老化関連転写因子NAPの遺伝子ホモログは老化誘導期のアサガオ花弁で発現量が著しく増加する
○篠崎良仁・山田哲也・金勝一樹(農工大・農)
- P76 AtδDELLA-*gai*導入植物の表現型とその接ぎ木伝搬性
荒谷陽介1・石井志帆2・○原田竹雄1(1. 弘大農学生命2. 北大・院・農)
- P77 GAI(GA-INSENSITIVE)との融合遺伝子転写産物の篩管輸送について
○葛西厚史・加藤由佳・大関さおり・原田竹雄(弘前大農学生命)
- P78 リンゴ篩部組織からのcDNA解析
岩谷朋美1・葛西厚史1・中園幹生2・○原田竹雄1(1. 弘前大農学生命2. 東大院農学生命)
- P79 簡易型DNAアレイシステムによるSNP検出法の開発(予報)
○山根美樹・南角奈美・武田和義・佐藤和広(岡大資生研)
- P80 コムギ非休眠突然変異体の種子におけるマイクロアレイ解析
○宇都木繁子1・中村信吾2・前川雅彦1(1. 岡大資生研2. 作物研究所)
- P81 Proteomic Analysis for the Storage Proteins Expressed from Three Different Genomes of Diploid Wild Wheat Seed
○徐形石1・金基現1・金亞凜1・申東勳1・許華榮2・朴哲洙3・鄭榮根3・鄭 根旭4・崔種順5・禹 仙熙1(1. 植物資源學科, 忠北大學校2. 作物科學院3. 作物科學院4. 農化學科 忠北大學校5. 韓國基礎科學支援院)
- P82 Proteomic analysis of wheat-rye translocation lines
○金亞凜1,3・南柱現3・周銀美3・徐形石1・金基現1・鄭 丞根1・徐容元2・金弘植1・崔 種順 3・禹 仙熙1(1. 植物資源學科, 忠北大學校2. 生命科學院 高麗大學校, 3. 韓國基礎科學支援院)
- P83 イネ低分子量GTPase OsRac1 を介したシグナル伝達経路のジスルフィドプロテオーム解析
○森野和子 1・梅村賢治2・岩田道顕2・藤原正幸3・島本功3・矢頭治1(1. 中央農研北陸2. 明治製菓 生物産業研3. 奈良先端大 バイオ)
- P84 種子形成期間に変動するイネ種子タンパク質のプロテオームの解析
○正木俊平・山田哲也・金勝一樹(農工大・農)

講演会場へのアクセス



～会場（明治大学・生田キャンパス）への交通案内～

大学構内に駐車スペースはありません。公共交通機関をご利用下さい。
メイン会場の第二校舎（理工学部）A館は、生田キャンパスで最も高い建物です。

【小田急・生田駅から】

南口から線路沿いを歩いて約10分

【小田急・向ヶ丘遊園駅から】

北口バス停から小田急バス、「明大正門前」（終点）下車（約15分）
20分に1本程度。時刻表は、<http://www.odakyubus.co.jp/>

【東京方面から向ヶ丘遊園駅・生田駅】

新宿から小田急線急行（快速急行・多摩急行を除く）で「向ヶ丘遊園駅」（約20分）、
準急・各駅停車に乗り換えて1つ目の生田駅下車（向ヶ丘遊園から約3分）

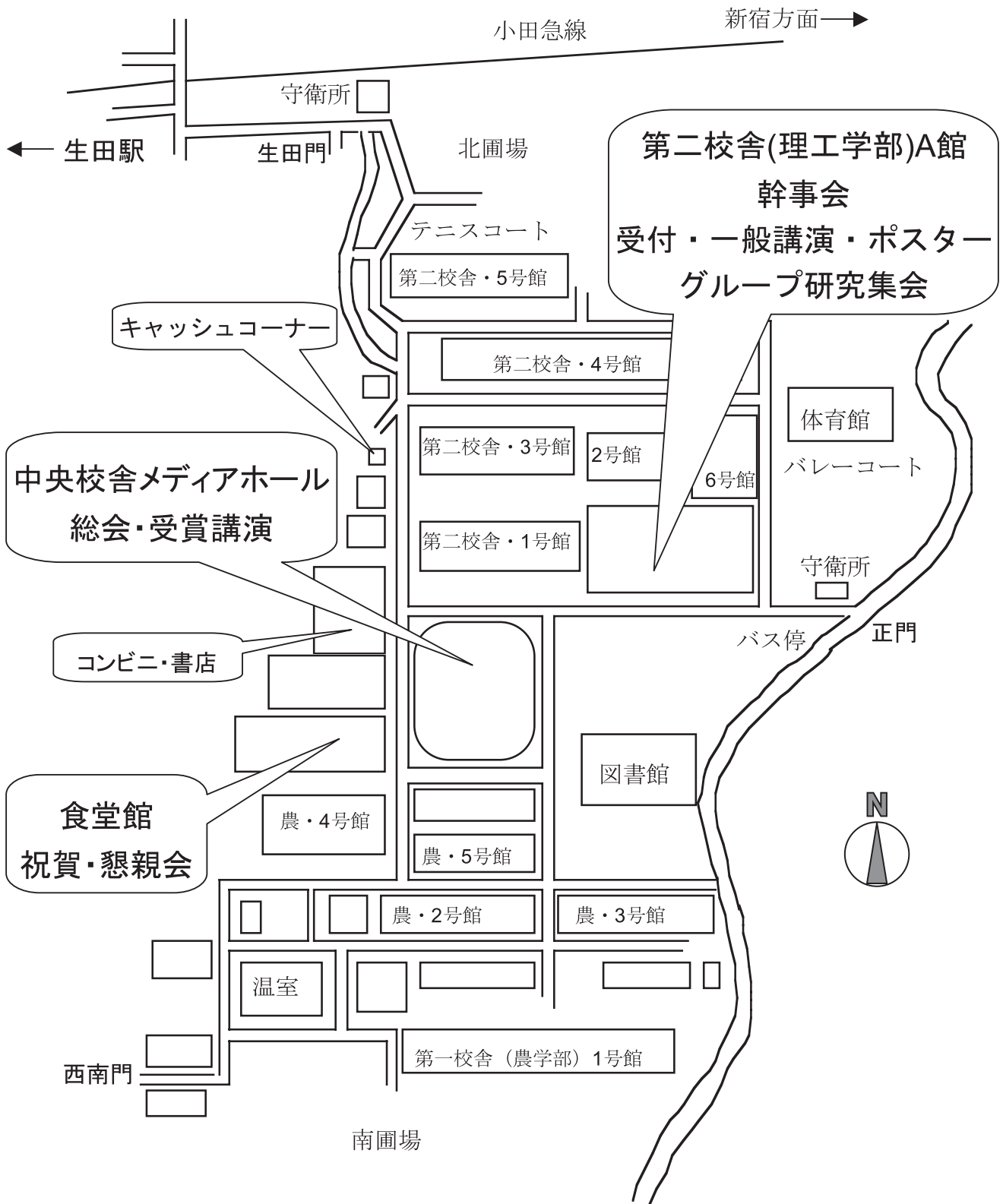
【小田原・藤沢・町田方面から生田駅】

小田急小田原線、小田急江ノ島線の快速急行・急行で「新百合ヶ丘駅」、
準急・各駅停車に乗り換えて3つ目の生田駅下車（新百合ヶ丘から約7分）

【小田原・藤沢・町田方面から向ヶ丘遊園駅】

小田急小田原線、小田急江ノ島線の急行（快速急行を除く）で向ヶ丘遊園駅下車

会場案内図 (生田キャンパス)



会場案内図

